

株式会社くふうカンパニー

2019年9月期 第3四半期連結決算 説明資料

2019.8.14



2019年9月期 第3四半期連結決算 概要	P.3 -
結婚関連事業	P.11 -
不動産関連事業	P.16 -
金融関連事業	P.21 -
(参考) 中期経営計画	P.24 -



2019年9月期 第3四半期連結決算 概要

グループ構成



フルスロットルズ社の連結を開始 (但し、損益については翌四半期より連結)、
Zaim社の損益について当四半期より連結

くふうグループ

結婚関連事業



株式会社みんなのウェディング



株式会社アールキューブ



株式会社フルスロットルズ

不動産関連事業



株式会社オウチーノ



株式会社Seven Signatures International



株式会社おうちのアドバイザー

金融関連事業



株式会社Zaim



株式会社保険のくふう

Da Vinci Studio

株式会社Da Vinci Studio



株式会社くふうカンパニー



**当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高 3,030百万円、
営業利益 151百万円、EBITDA 277百万円**

- 当四半期（2019年4-6月）の結婚関連事業は、結婚式開催数が伸長した結婚式プロデュースサービスの寄与により、前四半期比増収・増益
- 当四半期の不動産関連事業は、オウチーノ社の黒字化に加え、SSI社^{*1}における富裕層向け物件の取扱い件数も伸長し、不動産関連事業領域全体で黒字化
- 当四半期の金融関連事業^{*2}は、Zaim社のPL連結開始により売上高が前四半期比大幅増収

*1 SSI社 = 株式会社Seven Signatures International

*2 金融関連事業は、セグメント分類上「その他事業」区分に計上

連結業績ハイライト PL



当四半期は主軸の結婚および不動産関連事業の双方が増収・増益に寄与、
営業利益は96百万円（前四半期比3.7倍）、EBITDAは163百万円（同2.4倍）で着地

(単位:百万円)	19/9期 Q1 (参考)	19/9期 Q2 (参考)	19/9期 Q3	前四半期比	19/9期 Q3 累計
	売上高	680	1,097	1,252	114.1%
営業利益	29	26	96	368.3%	151
EBITDA	46	67	163	241.3%	277

* 株式会社Zaimを当四半期よりPL連結

* 株式会社フルスロットルズは2019年6月30日よりBS連結を開始、当四半期においてはPL連結対象外

連結業績ハイライト セグメント別 売上高



その他事業においてZaim社のPL連結を当四半期より開始、
3事業領域の全てにおいて前四半期比増収

(単位:百万円)		19/9期 Q1 (参考)	19/9期 Q2 (参考)	19/9期 Q3	前四半期比	19/9期 Q3 累計	四半期増減要因
		売上高	結婚関連 事業	394	892	942	105.6%
不動産関連 事業	285		203	244	120.3%	733	ツールサービスおよびメデ ィア事業、富裕層向け物件 取扱い件数が伸長
その他事業	-		6	69	1,116.5%	76	Zaim社のPL連結を開始
調整額	-		△4	△4	-	△8	-

* その他事業において、株式会社Zaimを当四半期よりPL連結

* 株式会社フルスロットルズは2019年6月30日よりBS連結を開始、当四半期においてはPL連結対象外

連結業績ハイライト セグメント別 営業利益・EBITDA



当四半期の結婚関連事業は結婚式プロデュースサービスが利益拡大フェーズに突入、不動産関連事業も黒字化

		(単位:百万円)				19/9期 Q3 累計	四半期増減要因
		19/9期 Q1 (参考)	19/9期 Q2 (参考)	19/9期 Q3	前四半期比		
営業利益	結婚関連事業	133	136	148	108.5%	418	アールキューブ社の利益拡大
	不動産関連事業	△88	△34	35	黒字化	△88	オウチーノ社黒字化、富裕層向け物件取扱い件数伸長
	その他事業	△2	△18	△5	-	△26	Zaim社のPL連結を開始
	調整額	△12	△57	△81	-	△151	のれん償却費の増加
EBITDA	結婚関連事業	142	147	160	108.8%	451	-
	不動産関連事業	△85	△32	37	黒字化	△80	
	その他事業	△2	△18	△2	-	△23	
	調整額	△7	△29	△32	-	△69	

* その他事業において、株式会社Zaimを当四半期よりPL連結

* 株式会社フルスロットルズは2019年6月30日よりBS連結を開始、当四半期においてはPL連結対象外

連結業績ハイライト BS



当四半期の増加は、フルスロットルズ社の連結開始が主因

(単位:百万円)		19/9期	19/9期	19/9期	19/9期	
		期首残高 (参考)	Q2末残高 (参考)	Q3末残高	対期首増減	四半期増減
資産	流動資産	4,551	2,208	2,404	△2,146	+195
	固定資産	500	3,250	3,251	+2,751	+1
	資産	5,051	5,459	5,656	+604	+196
負債および純資産	負債	303	707	833	+529	+126
	純資産	4,747	4,752	4,822	+75	+70
	負債および純資産	5,051	5,459	5,656	+604	+196

2019年9月期 連結業績見通しおよび進捗



引き続き通期で営業利益 2億円、EBITDA 4億円の着地を見込む

(単位:百万円)	19/9期 Q1 累計		19/9期 Q2 累計		19/9期 Q3 累計		19/9期 通期業績予想
		進捗率		進捗率		進捗率	
売上高	680	15.1%	1,777	39.5%	3,030	67.3%	4,500
営業利益	29	14.9%	55	27.9%	151	75.9%	200
EBITDA	46	11.6%	114	28.6%	277	69.5%	400



結婚関連事業



「メディアと結婚式プロデュース」を組み合わせた価値提供を訴求、フルスロツトルズ社取得により「衣装提供」の要素も加えたサービス展開の加速へ

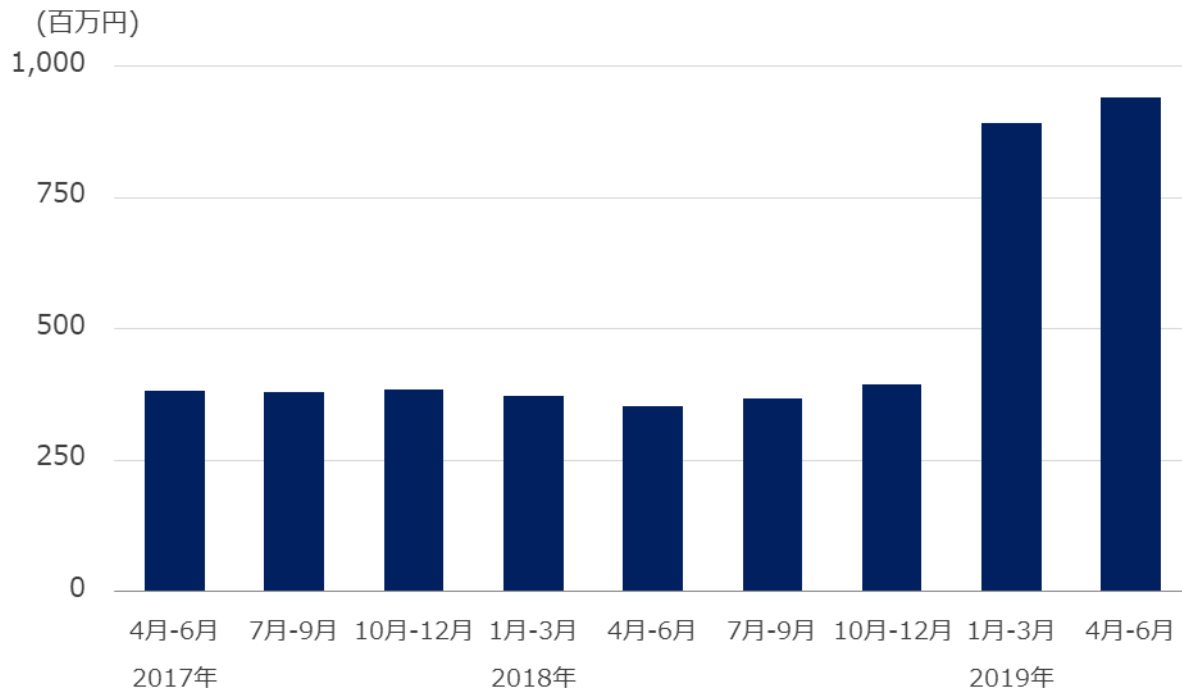
- スマートフォンで結婚式を挙げるサービスを提供開始、「ナシ婚」* 層に向けてお金・時間・場所を問わない「結婚式の新しいカタチ」を提案
- アールキューブ社の結婚式プロデュース機能を基礎に、「みんなのウェディング」としてのオリジナル結婚式プランの提供を開始
- 衣装提供を手がけるフルスロツトルズ社を6月末にグループ化、当社グループが手がけるサービス領域が拡大

* 「ナシ婚」 = 「入籍はしたが結婚式はしない」という結婚の形態

結婚関連事業 売上高推移



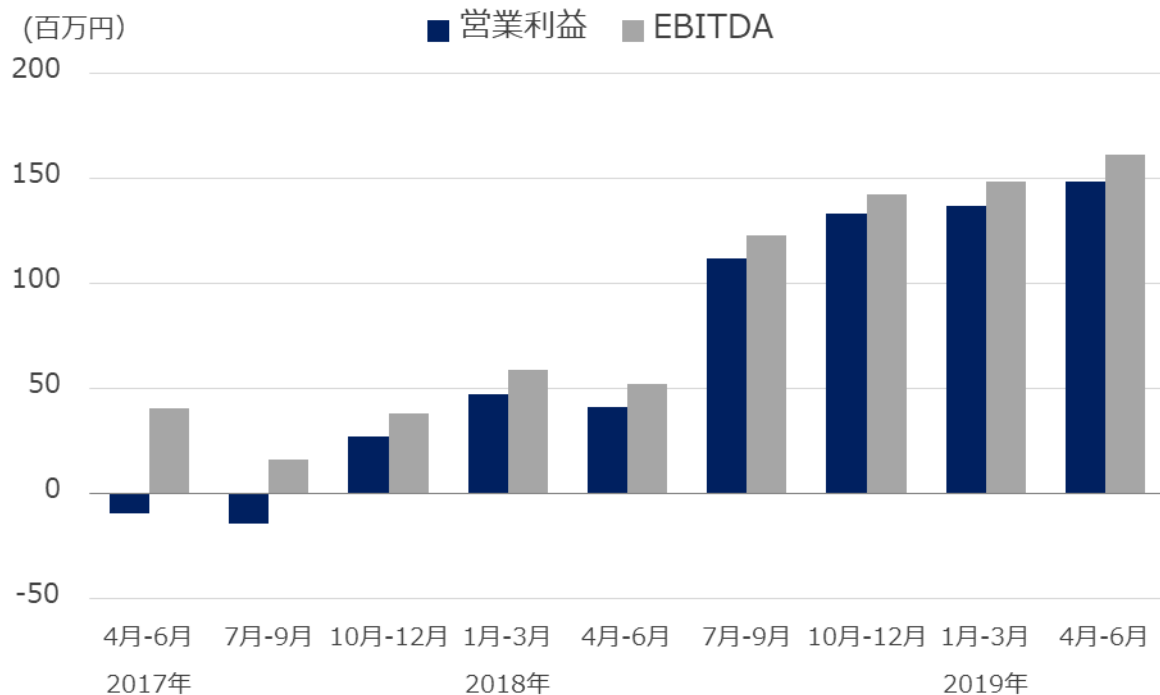
当四半期の売上高は942百万円 (前四半期比 105.6%)、メディア収益は堅調に推移、結婚式プロデュースサービスも結婚式開催数の伸長に伴い収益寄与、前四半期比増収



結婚関連事業 営業利益・EBITDA推移



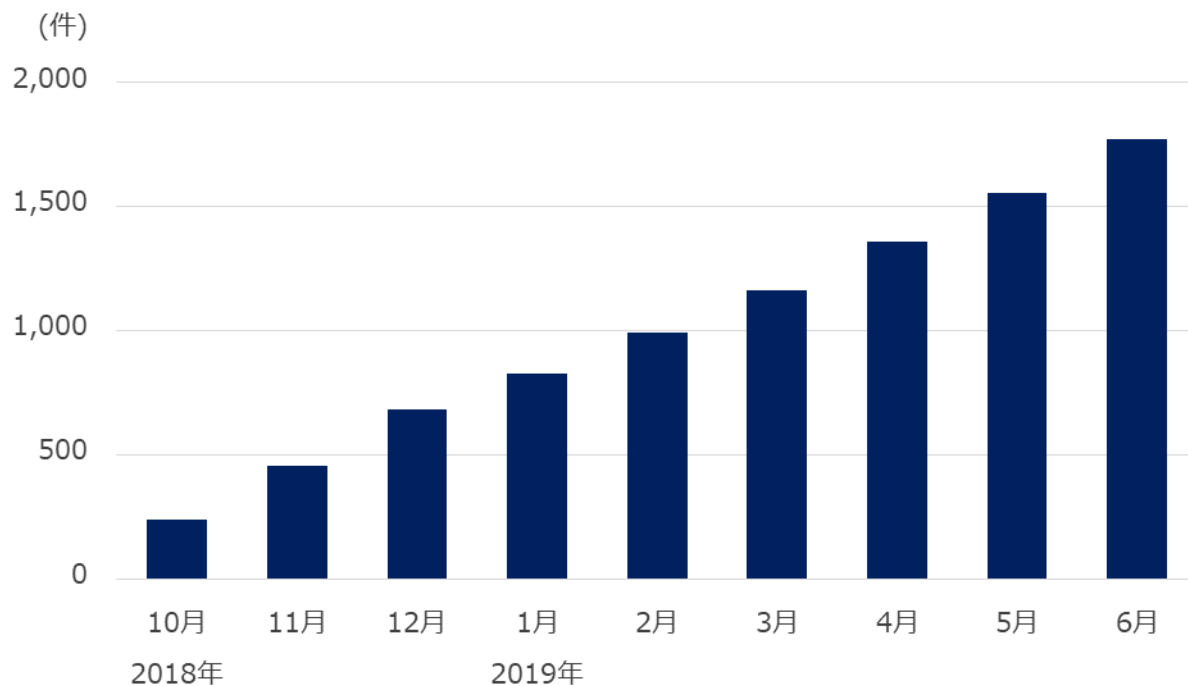
当四半期のEBITDAは160百万円 (前四半期比 108.8%)、結婚式プロデュースサービスが利益拡大フェーズに突入、営業増益に貢献



結婚関連事業 結婚式開催数（累計）



「当社グループの提供サービスを活用して開催された結婚式の開催数」*を新たな重要指標に設定、年間開催数10,000件の早期到達を目指す



* アールキューブ社がプロデュースした結婚式開催数と「みんなのウェディング」経由での結婚式開催数の合算値



不動産関連事業



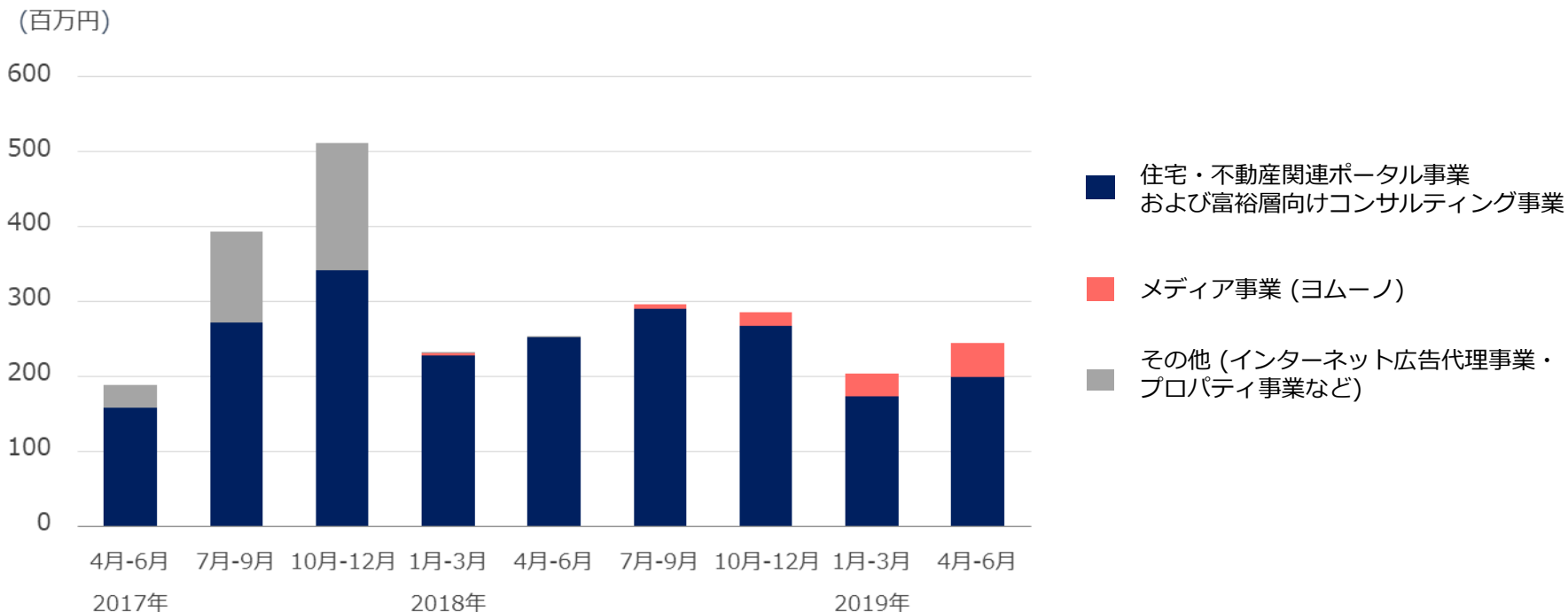
オウチーノ社の黒字化、およびSSI社における富裕層向け物件の取扱い件数が増加したことにより、不動産関連事業領域での黒字化を達成

- 人員規模最適化後のオウチーノ社の黒字幅拡大は、不動産会社向けの営業支援ツールサービス「くらすマッチ」、およびくらしに関する総合情報メディア「ヨムーノ」の伸長が貢献
- SSI社の富裕層向けコンサルティングサービスでは、主軸のハワイ高級リゾート物件の取扱い件数が伸長

不動産関連事業 売上高推移



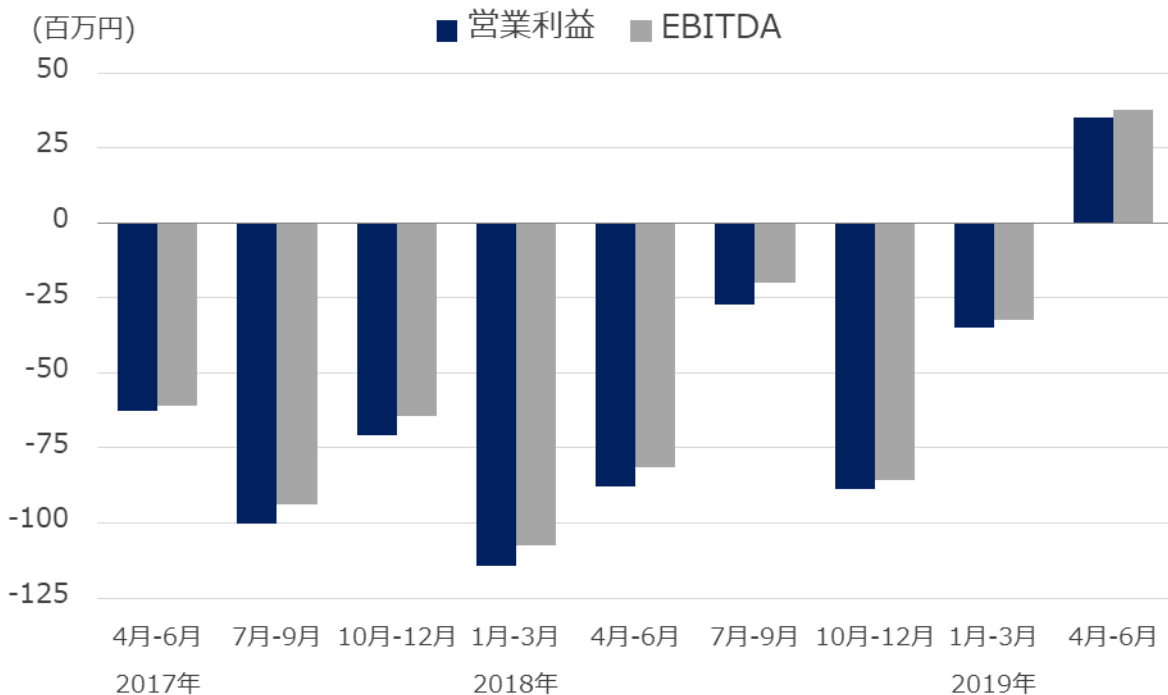
当四半期の売上高は244百万円 (前四半期比 120.3%)、「くらすマッチ」および「ヨムーノ」が堅調に拡大、富裕層向け物件の取扱い件数増加も寄与



不動産関連事業 営業利益・EBITDA推移



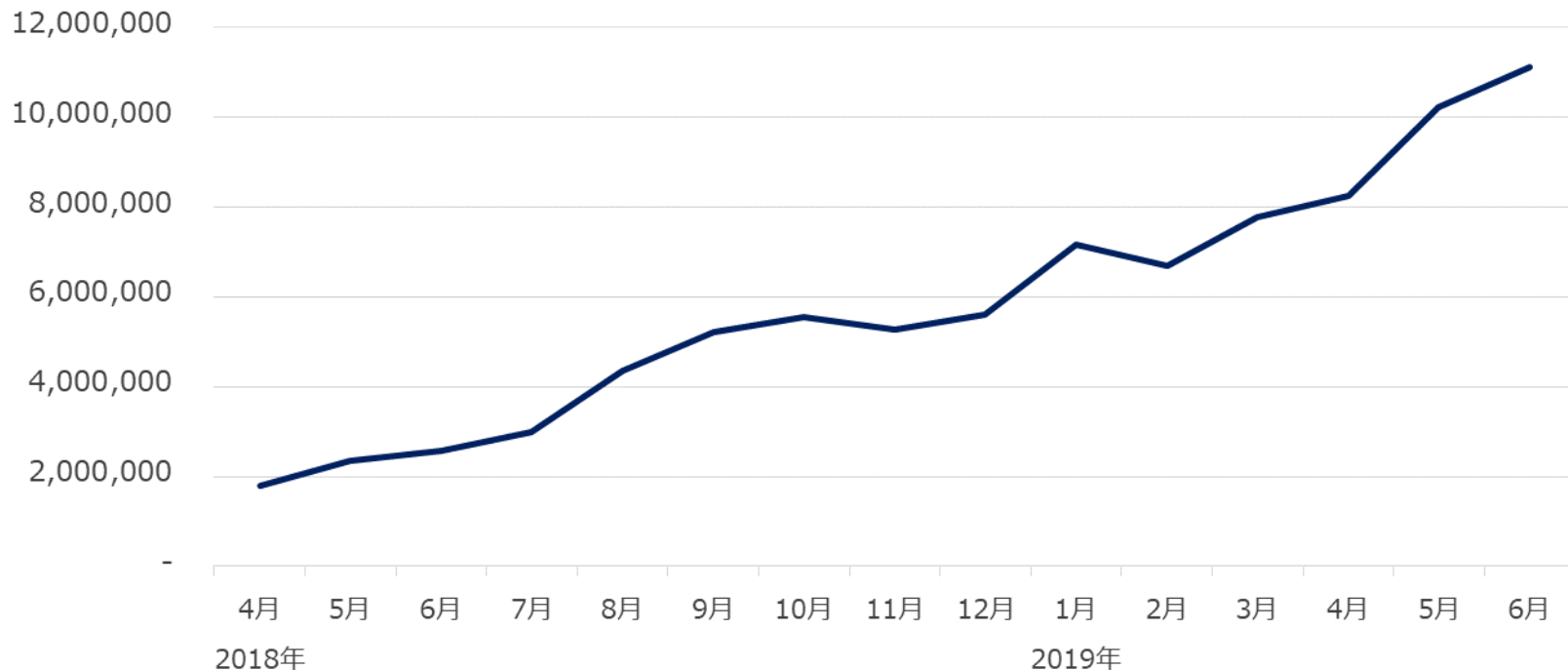
当四半期のEBITDAは37百万円（前四半期の△32百万円から黒字転換）、オウチーノ社は安定的に利益を創出できる体制を構築、富裕層向け物件の取扱い件数増加も寄与



不動産関連事業 UU数推移



「ヨムーノ」は飛躍的に伸長し2019年6月に1,000万UU突破、不動産ポータル
のユーザー数も「オウチーノニュース」のコンテンツ強化等が奏功し、増加基調





金融関連事業



保険のくふう社、およびZaim社のそれぞれにおいて、グループ内の他事業領域と連携した新たな事業展開に着手

- 保険のくふう社において、アールキューブ社との連携による「結婚式キャンセル保険」の取扱いを開始
- Zaim社において、Da Vinci Studio社をはじめとするエンジニアとの協働による分析プロジェクトを始動



ふくろう少額短期保険株式会社の子会社化を決議、 ライフシーンに合わせた合理的な保険商品の開発と生活者への訴求を強化

- 8月14日付けで、ふくろう少額短期保険株式会社の株式取得に関する株式譲渡契約を締結（社名は「くふう少額短期保険株式会社」に変更予定）
- 保険商品の販売代理業に加えて保険商品の企画開発も実施できる体制に
- 不動産、結婚、家計の各媒体で蓄積したビックデータを活用したユニークな保険商品を開発予定



(参考) 中期経営計画

2019年9月期～2021年9月期

ユーザーファーストの徹底



ユーザーの立場に立った情報と専門性の高いサービスの提供を強みに、
ユーザー価値の向上を実現する

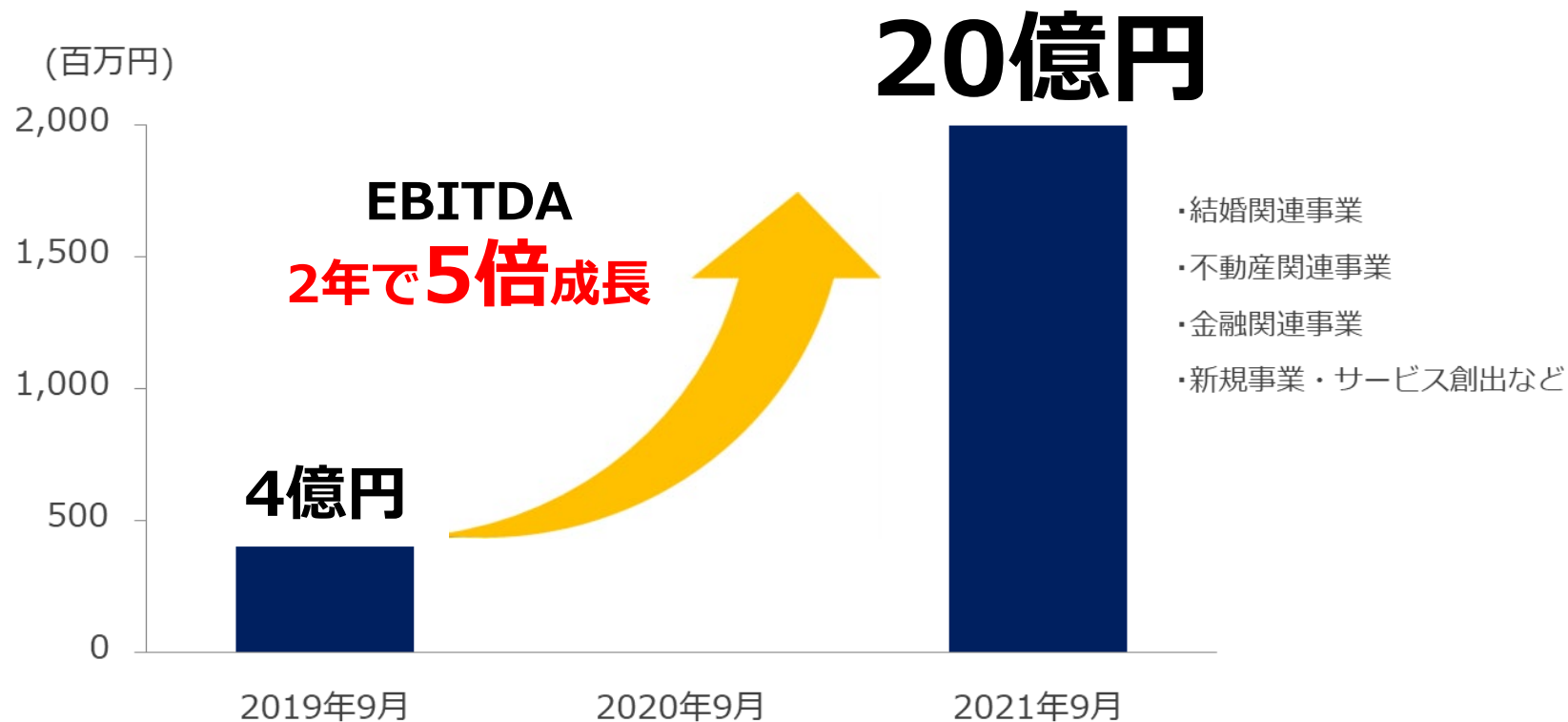


* 2019年7月1日付で株式会社くらしにくふうを設立

中期の経営定量目標 EBITDA



2021年9月期にEBITDA 20億円、2年で5倍成長を目指す



くふうで生活を賢く・楽しく

=お問合せ=

経営管理部 IR担当

E-mail ir@kufu.co.jp

HP <https://kufu.co.jp>

